

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 3, 4, 5 日 (17 : 00 ~ 17 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー A, B, C, D

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	2	1		4
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		4			4
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	2			4
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	2			4

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>新規利用者を受け入れる時には、ケアマネージャーからの事前の情報をもとに職員でミーティングを行い本人が安心して利用出来るよう受け入れ態勢を整えている。</p> <p>また、医療機関・他事業所とも連携しながら本人や家族のニーズに合ったサービスや支援が出来るよう配慮している。</p> <p>利用後も本人や家族とかかわる中で得た情報を、一人ひとりに合った支援につなげるよう、職員間で情報共有している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>シフト上、全職員が勤務することがないため、情報を把握し、共有するまでに時間がかかる。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・職員名前入り回覧シートを作成して情報を見たら押印し、できるだけ早く情報共有するようにする。 ・新規利用者の情報シートを勤務時には必ず見て確認する。管理者が主になって声かけし早く情報把握するよう意識付けしていく。 ・その人シートの活用。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年 1 月 3, 4, 5 日 (17 :00 ~17:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー A, B, C, D

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	3			4
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	3			4
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		3	1		4
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		4			4

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

本人の「したい事」を引出すため、日々の会話やアンケートまたは家族から情報収集し、願いを実現できるよう努めている。

生活歴や生活環境からも本人が生きがいを感じるようなことを把握し、生活意欲や満足感、自己有用感につながる支援になるよう職員間で話し合っている。

認知症や障がいにより意思表示ができていく方には、しぐさや体の動き、表情からその思いを理解できるよう、職員間で情報共有しながら支援している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

日々の生活の中で思いを実現できるようにかかわっているが、一人ひとりの思いや希望を叶える「スペシャルデイ」については、実施できた方が少なかった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・誕生月に実施できるように、職員が意識していく。
- ・職員が利用者個々の思いや希望を聞き取れるような関係作りをしていく。
- ・担当職員が主となり具体的な日程や内容を決め調整していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 3, 4, 5 日 (17 : 00～17 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー A, B, C, D

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		4			4
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	2			4
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		4			4
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	2			4
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	3			4

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>本人の生活歴から興味のある事、好きな事を把握し、出来る力を活かしながら達成感・役割感を持てるよう支援している。</p> <p>その日の体調・精神状態を把握し、変化のある場合は家族と連絡し、訪問・通所へ切り替えたり、医療機関・他事業所へ連携して早めの受診につなげている。日々の関わりの中から一人ひとりに合った声かけや介助方法を職員間で共有しながら支援している。</p> <p>特に意思疎通の困難な方には、表情・体の動きから本人の要求や気持ちを理解するように努めている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 3, 4, 5 日 (17:00~17:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー A, B, C, D

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	2			4
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	3			4
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4			4
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	3		4

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の生活歴を理解するため利用開始前からのアセスメントから継続的に情報収集している 本人の精神状態が安定しているときは、家族と相談し自宅で過ごせる日を増やし、家族との関係が途切れないようにしているケースあり。 本会総務福祉課や地域包括支援センターと連携しながら、地域資源や民生委員の把握に努め必要時連携している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
民生委員や地域資源については職員により把握不足な者もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・民協たよりに新民生委員の顔写真が掲載になる予定であるため、写真を見て各地区担当を把握する。 ・地域資源については、その人シートを見たりケアマネージャーに確認しながら、利用者を取り巻く環境を自分から積極的に把握する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 3, 4, 5 日 (17 : 00 ~17 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー A, B, C, D

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		4			4
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	3			4
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	1			4
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	2			4

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の状態、家族環境にも配慮しながら、ニーズに応じたサービス対応を調整し支援につなげている。本人の体調はもちろん精神面の変化についてもミーティングにて話し合い、情報共有しながら対応している。特に体調不良の場合には家族と連携しながら自宅でも安心して過ごせるよう訪問回数を増やし支援している。
ひとり暮らしのご利用者様には、民生委員・愛の輪協力員と連携し支援している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

.

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 3, 4, 5 日 (17:00 ~17:30)

6. 連携・協働

メンバー A, B, C, D

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4人	人	人	人	4人

前回の改善計画
カフェしじみを実施し、地域住民が気軽に立ち寄れる、より身近な施設になるようにしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
カフェしじみを実施。地域の高齢者クラブや子供会等に声掛けしながら行っている。少しずつではあるが、地域の方と顔なじみになっきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	3			4
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		4			4
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	2			4
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	3			4

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 その他のサービス機関とは、ケアマネージャーが主となりサービス担当者会議や日々の連携を取り必要な支援につなげている。
 自治体や地域包括支援センターとの会議には、出来る限り参加し情報共有や連携をとっている。
 地域行事には自治会から情報をいただき、積極的に参加している。(サロン、運動会等)
 職員の総事へ参加や、近所の方と野菜のやり取り、また施設行事に地域住民やボランティアの参加がある。
 より身近な施設になるため「カフェしじみ」を実施し高齢者や子ども会など地域の方に気軽に立ち寄っていただけるよう取り組んでいる。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 3, 4, 5 日 (17 : 00～17 : 30)

7. 運営

メンバー A, B, C, D

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	3			4
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	2			4
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	2			4
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	3	1			4

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
事業所理念を毎月の業務検討会で振り返り、小規模多機能居宅介護事業所としての基本的な考え方を基に利用者対応や地域とのかかわり等、職員間で連携しながら日々の運営につなげている。
運営推進会議時に地域や行政、家族の方から意見・要望をいただき運営に反映している。
1 年に 1 回アンケート調査を行い本人、家族の満足度や要望を聞いたり、日々の支援の中でも本人や家族の意見を聞き改善につなげている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 3, 4, 5 日 (17 : 00~17:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー A, B, C, D

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか		4			4
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		4			4
③	地域連絡会に参加していますか	1	3			4
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	1			4

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 各種研修や地域連絡会に参加し自己研鑽を行い、知識を得ながら利用者の支援にあたっている。 事故やヒヤリハットが起きた時は事例を具体的に検討し、職員で情報共有しながら再発防止につとめている。 日々の利用者対応についてもリスクマネジメントを行い、自立支援をしながら一人ひとりの方が安全に過ごせるように努めている。 コンプライアンス保持のため月 1 回の事業所業務検討会の開催、身体拘束虐待防止チェック、サービス情報の公表、行政との連携等を行っている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・研修実施・参加について、なんとかできているではなく、積極的に参加していくような事業所でなければならない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ・自分から進んで学ぶ機会を持つよう職員一人ひとりが意識し、実行する。 ・管理者から職員に声掛けし参加を促す。 ・研修を受けた職員は他の職員に内容を伝え、事業所全体のレベルアップにつなげていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 3, 4, 5 日 (17:00～ 17:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー A, B, C, D

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	人	人	4人

前回の改善計画	成年後見制度については、今後必要な対象者の利用も考えられることから、全職員が外部、内部での研修に参加し対応できるようにしておく。
前回の改善計画に対する取組み結果	外部研修に参加し、その資料をもとに事業所内で内部研修を行い、職員で制度についての知識を深めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	4				4
②	虐待は行われていない	4				4
③	プライバシーが守られている	3	1			4
④	必要な方に成年後見制度を活用している					対象利用者なし
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4				4

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 研修や基本理念にもとづき、日々個人の尊厳や人権を尊重した対応を行っている。 身体拘束ゼロマニュアルに基づき、職員は毎月チェックシートにて振り返りをしながら支援している。 成年後見制度については、外部研修参加や職員研修を行い制度について知識を深めている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
---------	--------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
---------------	-----------

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	湯梨浜町社会福祉協議会	代表者	会長 山田一男	法人・事業所の特徴	・一人ひとりの思いや生活のペースを大切にしながら、居心地の良い場所になるよう心掛けています。 ・得意な事や出来る事で一人ひとりの能力を引き出しながら役割を持って過ごしていただいています。 ・カフェしじみや地域交流を行いながら、誰もが気軽に立ち寄れる地域に開かれた施設を目指します。
事業所名	しじみの郷	管理者	大谷恵子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	人	1人	人	人	4人	2人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・次回の評価では事業所自己評価までのプロセスについても具体的に説明する。	・常勤4人が個別評価し項目ごとに話し合い事業所評価を作成した過程を説明した。	・自己評価はむずかしくて堅苦しい。 ・外部評価は法律で決まっているのか。 ・事業所自己評価作成時スタッフ全員の意見が反映されているのかわからない。	・自己評価の状況、出来ている事出来ていない事理由について、職員個々の意見がわかるような記入方法に変更していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・地域の人へのPR。行事等がわかるように外にチラシを貼る。・入りやすい環境作り。玄関の整理整頓。オープンスペースを作り地域の方とふれ合えるよう工夫する。寄りやすい行事交流日の調整。	・外へのチラシ貼り。(カフェしじみ)・玄関の整理整頓。夏場玄関横ベランダに長椅子を置きオープンスペースを作った。	・居心地がいい空間になっているのかわからない。	・引き続き事業所に入りやすい雰囲気となるような環境作りをしていく。 ・整理整頓。 ・外回りや地域の掲示板へチラシ、介護相談のポスターを貼り、地域の方にはたらきかける。
C. 事業所と地域のかかわり	・地域にPRし、しじみの郷を知ってもらおう。サロン等にチラシ配布。外出機会を増やす。介護相談の掲示。社協総務福祉課と連携しサロン情報を得て地域に出かけて行く。	・サロンや高齢者クラブにてチラシを配布しPRを行った。介護相談チラシ掲示は未実施であった。 ・上浅津以外の地域へ関わって行くことが少なかった。	・困り事や相談のあった時に事業所は相談しやすい場所になっているのかわからない。	・公民館や地域の会合に出向き地域の方となじみの関係になっていく。 ・地域の掲示板を利用していただきしじみPRや介護相談等のポスターを貼らせてもらう。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・本人、家族から相談があれば地域包括支援センターや社協につなげていく。相談しやすい環境作りをする。	・昨年度地域の方の介護相談を受けた。カフェしじみに誘ったところ来所され交流した。	・個人情報、プライバシー保護の観点もあり、本人家族からの直接の相談がなければ、しじみの郷がかかわれない現状がある。	・日々本人や家族と連携し、相談しやすい関係作りをしていく。・地域会議が必要なケースがあれば開催していく。・地域の方から相談があれば地域包括支援センターや総務福祉課、ケアマネージャーにつなげる。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・ケース検討出来る事例については検討していく。(個人情報保護の観点でできる範囲)・運動会や防災訓練等の地域の行事や総事への参加を継続していき、引き続き地域の一員として取り組んでいく。	・地域の心配な方等の事例検討は行われなかった。・地域行事、総事へは参加し地域に関わることができた。		・運営推進会議時に、委員さんから地域の高齢者の様子や心配事を聞き課題を話し合える場としていく。
F. 事業所の防災・災害対策	・運営推進委員の方に防災計画の内容を見ていただき、訓練時にはメンバー全員に案内を出し参加して頂く。引き続き防災訓練を実施していく。	・事業所の防災計画やマニュアルを見ていただいていたなかった。		・防災訓練時には運営推進委員にも参加して頂き、防災計画も確認してもらう。 ・事業所内訓練はもちろん、地域の防災訓練にも参加していく。